

編 集 後 記

「鉄と鋼」に特集号なるものが企画されてから 10 年、寄稿者各位のご協力を得て、ここにはじめて「鋼材の表面処理」特集号を世に送ることができてうれしい。東洋鋼板(株)吉崎社長から巻頭言を頂戴したが本特集号を記念できて喜びに堪えない。

今や、鉄鋼の圧延以降、表面処理に関与する技術者群は少なからざる勢力であり、その役割は今後ますます増大することを考えると、本特集号の意義は誠に大きいものがある。1 編ではあるが米国から目下話題の鉄鋼材料に関する論文が寄せられ、しかもこれを英文のまま掲載するという新しい試みも折り込み、鉄鋼技術の国際化に資したつもりである。

今回は、電気亜鉛めつき、溶融亜鉛めつき、ぶりき、ティンフリースチール、塗装鋼板および電磁鋼板・鋼管・ステンレスの表面処理を中心としたが、鉄鋼界面物理化学を基盤とする技術範囲はこれらに限られるものではない。本特集号の企画と編集に携わったわれわれとしては、これを契機に、鉄鋼表面技術者が、個人としてもまたグループとしても、自分の職域においてもまた本会の諸活動においても、ますます活躍されんことを切に希望する。

安 藤 卓 雄
木 村 忠 雄
佐 藤 秀 之
中 岡 一 秀
野 路 功 二
原 田 俊 一

「鉄 と 鋼」 特集号原稿募集案内

テーマ：鋼の連続鑄造の進歩

原稿締切日 昭和 55 年 10 月 20 日 (木)

昭和 56 年 6 月号 (第 67 年第 7 号) に鋼の連続鑄造技術の特集号を企画しております。前回の連鑄特集号 (1974 年 6 月) 発刊よりはや 7 年が経過し、その間我が国の鋼の連鑄化率は飛躍的に増大しました。これに呼応して鋼の凝固理論の進展はもとより、操業の自動化鑄片品質の向上、生産性の向上などに関する多種多様の技術が開発され実用化されて多大の成果をえてまいりました。今回これら鋼の連続鑄造に関連する諸技術の発展をまとめるため“鋼の連続鑄造技術の進歩を”主題に諸兄の原稿を募集いたします。奮つて御応募ください。

記

1. テー マ 鋼の連続鑄造の進歩
 2. 原稿締切日 昭和 55 年 10 月 20 日 (木)
 3. 発 行 鉄と鋼、第 67 年 7 号(昭和56年 6 月号)
 4. 原 稿 枚 数 表, 図, 写真を含めて所定の原稿用紙
 - 1) 論文 50 枚以内 (刷上り 10 ページ以内)
 - 2) 技術報告 35 枚以内 (刷上り 7 ページ以内)
 - 3) 原稿は本会投稿規定に基づいて執筆下さい。
 - 4) 投稿された論文は編集委員会において審査されます。
 5. 問合せ・原稿送付先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 F
(社)日本鉄鋼協会編集課特集号係 電話 03-279-6021
- (注) 投稿時、原稿表紙に「製鋼特集号」と朱書して下さい。